

七峡だより

令和4年 1月 31日
荒川区立第七峡田小学校
校長 高田 大

学びを止めず、繋がりを保つ

校長 高田 大

本校では今年に入ってからのおミクロン株流行においても、感染状況、欠席者数ともに比較的低い水準で推移しており、概ね予定通りの教育活動を実施できておりました。ひとえに各ご庭のご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。しかし既報の通り荒川区内では連日子どもの新型コロナウイルス感染症感染者が急増しており、本校でも複数の学級を閉鎖する状況となっております。

これらを受け荒川区教育委員会では、区立全小中学校で「オンライン授業期間」を実施することに決定しました。これは「休校」ではなくオンラインの取組を正式な「授業」と位置付けることで、子どもの学びを止めないこと、そして子どもと学校や子ども同士の繋がりを保つことをねらいとしています。

本校では2月1日(火)～5日(土)と、2月7日(月)～9日(水)がその期間となります(2月10日(木)は本校開校記念日のため休業)。積極的にオンライン授業への参加をご検討いただくとともに、この機会に改めて次の点についてご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

早めの医療機関受診、学校への連絡

荒川区では1月28日より、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の基準を、文部科学省のガイドラインよりもさらに厳しいものに変更しました(陽性判明1名で閉鎖する場合があります)。引き続きお子様の体調がすぐれない場合には無理せず、早めの医療機関受診をお勧めいたします。また学校へも早めのご連絡をいただきたいのですが、電話がつながりにくい時間帯がございます。特に早朝、深夜や休日のご連絡には欠席フォームをぜひご活用ください。

互いのプライバシーの尊重

学校では現在、コロナ関連か否かを問わず、また児童であっても教職員であっても、欠席や不在の理由を他にお伝えすることを原則行っておりません。学校を欠席する理由は様々であり、またご家庭の状況に由来するものも多く、欠席者とその理由は守るべき個人情報です。保護者の皆様におかれましても、欠席者やその理由を詮索等することは厳に慎んでいただきますようお願い申し上げます。本校は教育目標として「自分も人も大切にする子」を掲げております。互いに思いやりの心をもってこのコロナ禍を乗り切れるよう、皆で心がけてまいりましょう。

JICA 出前授業体験

6年生担任

1月15日（土）、JICA から青年海外協力隊のボランティア経験者をお招きして、出前授業を行いました。それぞれタンザニアとネパールの衣装を着て、その地での貴重な経験を聞かせて下さいました。なかなか行く機会のない遠くの国のお話を子どもたちは目を輝かせ、時に真剣に、また楽しそうに聞いていました。以下にクラスごとの感想を紹介します。

- JICA ボランティアの活動内容を詳しく学ぶことができました。お話を聞いているうちに、日本の豊かさに改めて感じました。世界の国々の中でも、タンザニアの国の文化や有名な物について理解を深めました。実際に衣装や飾り物に触れる貴重な経験ができました。 (6-1)
- 日本と違ってネパールではたくさん問題があることを知りました。お金がないとあんなに人々が苦しんでしまうことに驚きました。ネパールの貧困問題の苦しさや痛みが分かりました。この学習を通して、これから募金したり、さらに調べて知識を深めたりして、自分たちができることをやっていきたいです。 (6-2)

長なわタイムについて

体育主任

クラスごとに目標を設定し、2月15日（火）から中休みに長なわの練習をします。感染症対策を十分に行った上で取り組んでいきます。児童のみなさんは、昼夜の寒暖差が大きいため体調を崩さずに参加できるよう体調管理をしましょう。ご家庭でも温かく励ましてあげてください。

2月の生活指導目標【寒さに負けない工夫をしよう】

生活指導主任

寒さに負けない工夫にはどのようなものがあるのでしょうか。元気よく外遊びをする、衣服の調節をする、うがいや手洗いをする、温かいものを食べる等、様々な工夫が考えられます。

また、体と心は密接な関係にあります。前向きな気持ちで過ごせるように生活のリズムを整えることも工夫の一つです。まだ、寒い日が続きます。明るい気持ちをもつことで寒さに負けないように気を付けてほしいと思います。ご家庭でも、寒さに負けない工夫について話し合ってみてください。